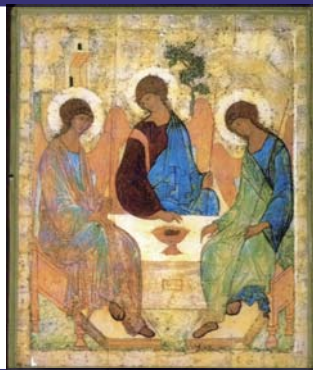


広報 なかわだ

第 345 号

5 月の予定

| | |
|--------|----------|
| 委員会 | 5 月 4 日 |
| 典礼委員会 | 5 月 11 日 |
| 子供のミサ | 5 月 25 日 |
| ヨゼフ会例会 | 5 月 18 日 |



2008 年 5 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 20 年 5 月 4 日



御 聖 体 に つ い て

主任司祭 小林 陽一



5 月の空気は明るく、清々しい日々が続く時期となりました。5 月 25 日はキリストの聖体の主日であることから、御聖体について考えていることを述べてみたいと思います。

御聖体に向かう自分の姿勢が、自分の信仰をあらわしていると思います。御聖体はイエス・キリスト様の御体であり、生命であると教えられています。貴く聖なるものを拝領するというより、自分を神様が守ってくれるという意識で受けることもあるかもしれません。御聖体は、復活したイエス様の御からだをパンの形色で受けますので、イエス様の下さるこの大きな恵みによって、自分自身がキリストの復活の栄光の姿に変えられていくということを認め、黙想いたしましょう。

ミサは、参加するだけでも大きな意味があります。それに加えて、「今日のミサでこの人の為に祈りたいので、この心を奉納の時ささげます」という参加の仕方もあります。具体的な自分の心（たとえば、入試合格に感謝したいとか、病気回復の恵みが与えられますように、という願いと心）を奉納の時に献げものとして捧げることも良いことです。御聖体はユーカリスチアと呼ばれ、御聖体を拝領したとき、イエス・キリスト様とひとつになれたことを実感いたします。イエス様が、聖体を拝領したこの私の中で、私を生かす永遠のいのちの糧となって下さっています。こういう思いを、聖体拝領の直後、大切にしていきたいと思います。そして、御聖体を拝領したこの私は、このミサの聖体拝領の時、70 人～120 人のカトリックの兄弟と一緒に聖体の秘跡、すなわちユーカリスチアを拝領しましたから、この教会共同体の一員として、自分はミサに見えている皆さんと信者として、仲間として、一致の心を表面にあらわす必要があります。その一致の心を表面にあらわす具体的な方法は、ミサの帰りがけに、近くの人に声をかける「あいさつ」だと思います。「私、これで帰ります。どうぞお元気で。またお会いしたいです」。こうしたあいさつは、どんなにか人の心を和ませることでしょう。黙って聖堂のドアから一步出てしまうのではなく、近くにおられる方に一言声をかけてあいさつする、それは、信者の皆さんと心はひとつですという心のあらわれと言ってよいのではないのでしょうか。

日曜日の朝、ミサに与る前の「あいさつ」は、聞いているだけで周りを明るくしてくれます。そして、ミサ後の帰りがけの「あいさつ」も大事にしたいものです。

典 礼 こ よ み (5 月)



| 日 曜 | ミ サ ・ 勉 強 会 | | 備 考 |
|------|-------------|--------------------|----------------------|
| 4 日 | 主の昇天 | 主日ミサ (9 時より) | 教会委員会 (ミサ後) |
| 7 水 | | 聖書勉強会 (10 時より) | |
| 10 土 | | 主日ミサ (18 時より) | 掃除 2 G (9 時 30 分) |
| 11 日 | 聖霊降臨の主日 | 主日ミサ (9 時より) | 典礼委員会 |
| 14 水 | | 聖書勉強会 (10 時より) | |
| 17 土 | | | 掃除 3 G (9 時 30 分) |
| 18 日 | 三位一体の主日 | 主日ミサ (9 時より) | |
| 21 水 | | 聖書勉強会 (10 時より) | |
| 24 土 | | | 掃除 4 G (9 時 30 分) |
| 25 日 | キリストの聖体 | 子供と共に捧げるミサ (9 時より) | 教会掃除日、愛の献金・教会建物を考える会 |
| 28 水 | | 聖書勉強会 (10 時より) | |
| 30 金 | イエズスのみ心 | 祭日ミサ (10 時より) | |
| 31 土 | | | 掃除 4 G (9 時 30 分) |



第二十七回横浜教区春期典礼研修会に参加して

典礼委員 竹内 広治

今年も春の典礼研修会が開かれる季節になりました。灰の水曜日を迎えていよいよ四旬節、今年はずっとより寒暖の気温の差があって、その渦巻きに翻弄され、体調もいまいちかなと思っておりましたが、灰の祝別を戴いた頃より好調な日々が続いて、思いがけない喜びを味わっております。

そのような訳で、今年も引き続き研修会へ御邪魔しようと思いましたが。その日2月11日は、朝の冷え込みが予想していたより控えめで、久しぶりのお出かけには有難い陽気で助かりました。

この横浜教区典礼研修会は、その研修内容の質の高さは言うに及ばず、会場の雰囲気、会場へのアクセスなどが、ほどほどの利便性と味合いを備えていて評判が極めて宜しいと聞いております。けれどもその評価の大半は、何と言っても、講師を務められる御二人の神父様の人格と個性が全てだと私は思っているのです。定刻になりました。教区先代の典礼委員長、カンペンハウド神父様の御話が始まります。いつものことなのですがこの始まりの瞬間、期待が高ぶるのか、身体も心もワクワクゾクゾクして来て、なかなか止まりません。

立派なお体格の神父様はそれなりにご肥満気味と御見かけいたしました。いたってお元気。いつもの様にユーモアいっぱいサービスで聴衆を和ませます。やがて御話が核心に触れる部分に近づきました。今までの柔和な口調を厳粛な響きに改めて、四旬節を生きるためとしたお考えを述べられました。

「四旬節は神に心を向けること、キリストの様に神と隣人に仕える人間になれるように、神と隣人の方へ心を回す(回心)の時なのです」大柄の神父様がますます大きく見えて圧倒されますね。

午前の研修はここで終わり、昼食休憩にはいりました。中和田教会のお仲間10人、神父様と一緒に御弁当を済ませ、ホット一息すこぶる満足であります。周りとは見れば三々五々の食事風景、賑やかなグループは流石に楽しげですね。いいお話を耳に入れ、美味しいものを口にしてのピクニック気分、健康的でいいことでした。

午後のお話は今の教区典礼委員長、イエズス会の久我神父様がなさいます。神父様は多くの方々から望まれて、教区で宣教司牧のお仕事に携われました。典礼祭儀については特に精通の度合いも深く、ご多忙のなかに在っても、第五地区一粒会の指導司祭もお勤め下さっておられます。風貌容姿はあくまで端麗にして柔和、お優しい眼差しの奥に理知的な輝きがキラリ。でも日常的なソフトな会話のなかに、安易な妥協は決してなさらない強いご意志を感じとるのは、私だけではないと思います。

お話は復活節について、その意味と実践の在り方を、具体的に解説なさいました。復活節に入信の秘蹟を受けた新信者の歩みを、共同体の全ての人が、「信者としての生活を過ごす」ための手ほどきを施すべきと結ばれました。

お隣りの小林神父様と皆さんは熱心にメモを採っています。疲れた私はアクビを堪えます。研修の詳細はカトリック新聞第3944号をどうぞ。私もそれを読みながら書きました。



4月の要理学校だより



◆親の集い 4月20日 (9名出席)

4月の活動報告

- ◆ 4/5 教会学校リーダー研修会に4名参加。(内容は後日報告予定)
- ◆ 4/20 ご入学、ご進級おめでとう!! 子どもたち一人一人の自己紹介をしてお祝いをしました。その後、「聖書朗読」について森脇リーダーよりお話がありました(内容は4頁に掲載)
- ◆ 今年初聖体を受ける子どもたちのお父様、お母様に今後の勉強予定等について説明

5月の活動予定

- ◆ 5/18 マリアさまについてのお話 石井リーダー
- ◆ 5/25 トーンチャイムで遊ぼう! 畑の草取り

その他

- ◆ 教会会計より要理学校活動資金5万円を預かる
- ◆ 教材として本を購入: ・教会学校の手引き ・イエス時代の日常生活 ・「バイブルクラス」
- ◆ マリア斜塔にある要理学校の教材や本の整理しよう。

- ◆ 第5地区教会学校合同遠足 4月27日 (内容は4頁に掲載)

皆さんにとって、"ゆるし"とは、いったい何なのでしょう。私たちは、今回の合宿で、『ゆるすこと』について、分かち合いをしました。(神父様と井上先生のご指導で。)その中で、私が感じ、思ったことを少し書きたいと思います。

まず、ゆるしの秘跡について、私達は分かち合いをしました。『赦しの秘跡って、けっきょくの所、どういう事なの?』キリスト教信者さん以外の方に、このように聞かれたら、いったいどのように答えますか?私達は次のように考え、まとめました。

「ゆるしの秘跡とは、神父様を通して、イエス様(神さま)にゆるしを与えてもらうもの。」

ゆるしの秘跡で行われるゆるしとは、決して人から与えられるものではありません。そう、神様から頂くものなのです。少し表現のしかたが変ですが、「あなたの罪をゆるします。」と言うのは神父様です。でも実際はそれを通して、神様から私達はゆるしをもらっているのです。だからこそ、ゆるしの秘跡をおろそかにしてはいけません。自分ではかかえきれないぐらいの大きな罪でも、ゆるしの秘跡を通して、神様は聞いてくださいます。ゆるしてくださるのです。ミサに出て、御聖体をいただくだけが全てではありません。ただ毎週なんとなくミサに行き、なんとなくみんなと一緒に歌を歌う。神様はそのようなことを望んでいらっしゃるではありません。なんのためにミサのはじめに、神父様が「犯した罪を認めましょう。」「心を改めましょう。」と唱えるのでしょうか。答えは一つです。ミサを授かる前に、犯したあやまちをゆるしてもらうためです。原点はここにあるのです。全てはゆるしてもらうことから始まるからです。ミサのはじめ、私達はいったいどのぐらいの罪を悔い改めることができているのでしょうか。一度じっくり考えてみる必要がありそうです。

その後、色々な方向に話は進み、多々脱線しながらも、私達はこのことについて語り合いました。『ゆるされない罪はあるのか?』非常に難しい問いかけだと私は思っています。色々な解釈ができるし、人それぞれの感じ方も違うからです。(ゆるしの秘跡についても人それぞれ感じ方が違うだろう!というつつこみはあえてしないで下さい(笑))そんな中で、私達が出した答えはこうでした。

「神様はどんな罪でもゆるしてくれる。(本当に悔いて、

お祈りすれば)でも、"人間"からは、ゆるしてもらえない罪もある。」

たしかに大事なものは神様から受けるゆるしです。でもたとえば、友達とケンカした時、神様に自分の悪かったことを告白し、ゆるしてもらえたとしても、それだけでは本当の解決にはなりません。ケンカだけであつたなら、おたがいがあやまり、友達とゆるし合えるかもしれませんが、でももしこの時、ケンカした時に、友達のことを殺してしまったら(変なたとえですみません。他に良い例が浮かばなくて・・・)友達のお父さんは、お母さんは、妹は、いとこは、ゆるしてくれるのでしょうか?たった一つの大切な大切な命を失って、はたして人はゆるせるのでしょうか。あまり自分の感情を入れすぎると紙がいくらあっても足りなくなるので、ここでこの話は終わりにしますが、それでも感じてほしいのは、誰からもゆるしてもらえず、分かちてもらえず、ただのしかかってくるこの罪を、一生一人でかかえこむのか、それとも、目には見えないけれど(自分の思いを)神様にうちあけるのか、どちらの方が悔い改められるようになるのか。そう考えると、私達は、違う宗教の人よりは大きな罪も、軽く背負っていけるのではないのでしょうか。

長い文になってしまいましたが、実際はもっと多くのことも分かち合いました。書いたことには相当私情が入っていますが、皆さんは"ゆるし"について何を考えますか?表現するのもへただし、考えもまだまだ浅い私ですが、今回の合宿で、たくさんのことを学んだつもりです。この合宿ができたのも、中和田教会の皆さんのおかげだと思っています。(親、神父様、井上先生も含め)

最後に皆さんにお伝えしたいことがあります。それは、『ゆるし合って』下さい。ということです。それを通して、神様は私達も相手もゆるしてください。イエス様が弟子達に罪もゆるす権能をお与えになったように、私達も人をゆるしてあげるという力を与えられているはずです。

これはあくまでも私の考えなので、皆さんの考えも教えて下さい。まだまだ子供で、未熟者の私にとって、今一番大きな力を持つものが『人の声』ですから。(なまいきですみません。)これからも中学生社会で、色々なことを学んでいきたいです。

バザー担当グループ(アンドレ・グループ)からのお願い

今年も中和田教会恒例のバザーに向けて動き始めました。

皆様のご協力をお願いいたします。

◆ 提供品のお願い

- ① 新品でバザーで販売できる品物
- ② そのまま着られるような衣類

③ 手作り品、または手芸品など。

(お一人2点くらいを目安に)

- ◆ 毎月第三木曜日、10時～15時まで、バザーの作品作りをしています。一緒に始めませんか?

以上、よろしく願いいたします。

(代表・中島)

委員会だより

△4月6日(日) 11名出席▽

小林主任司祭挨拶

神奈川のカトリック全体で主日ミサに与える人の大多数は50歳以上のこと。若い人に教会に来て頂くにはどうすればよいか。『若い人と共に歩む教会』を目指している中和田としては皆さんの知恵を是非結集したい。

行事計画

◆教区レベルでは、叙階式や教会学校の合同遠足など行事が多いが、中和田教会としては4月度はとくに大きな行事はない。

審議事項

◆復活祭の反省…

◆今年の祝賀会は、簡素な形にして「サンドウィッチ+献品方式」としたが、いい示唆を投げかけた。今後は子どもたちを中心に運営していきたい。(小林神父)

◆今回でも、かなり料理が残った。総じて、今後もこの方向でよいのでは、と感じる(行事委員)

◆ベトナムの皆さんに差し入れて頂いたスープが好評だった。有難うございました

◆祝賀会経費は、予算を大幅に下回る額で済んだ(行事委員報告)

各グループ連絡・報告事項

◆a. 営繕G…

◆教会玄関前のスロープのコンクリート工事を武田さんのご尽力で完了。有難うございました

◆「教会建物を考える会」の第2回目の集まりを3/30に行ったが、聖堂床下対応など検討課題が盛り沢山。必要な費用金額を精査、勘案して優先度を付け、順次対応していく。

◆b. 典礼G… 聖週間の行事が無事終了。

了。関係者に感謝

c. 財務G…

◆3月度のトピックスは、布教強化費、渉外費など。

◆水道光熱費は精査必要なるも、全体としては概ね予定通り推移。

d. 広報G…

◆「広報なかわだ」の印刷に関する議論

◆「広報なかわだ」を教会ホームページからダウンロード出来る仕組みを構築した。

e. 宣教G/教会学校…

◆4/5に教会学校リーダー研修会が戸塚教会で開催された。中和田からは4名出席

◆中高生会の合宿を計画中

◆4/7教会学校合同遠足のプログラムが決定された。4/20に最終打合せが予定されている

◆「泉区民クリスマス」への参画に関する議論… 活動内容をよく知ることからスタートしたい(小林神父)

f. 福祉G…

◆「愛の献金を考える会」中間経過報告… 信徒からみて分かり易い仕組みを構築していくこと、など。

g. 事務G…

◆教区行事対応… 詳細別途案内

◆菊名教会献堂式、谷脇助祭の司祭叙階式、ペトロ岐部と187殉教者列福式

◆神奈川県共同宣教司牧推進委員会主催の2008年度研修・養成コース

◆主任司祭出張(4/14、4/15)に伴う対応など



08年3月委員会後記 小野委員長

◆第5地区共同宣教司牧委員会が4/20に大船教会で開催されました。既にご報告しておりますように、「祈る力」「伝える力」「証しする力」の3つの切り口から横浜教区のヴィジョン並びに行動指針に関する話し合いを行っておりますが、回を重ねると議論の内容も次第に率直且つ具体的になって来たという感じがします。一通り纏まった段階で皆様に内容をご報告させて頂きますので宜しくお願い申し上げます。司教教書が議論の基底ですが、信徒各位におかれましても、小林神父様や教会委員までコメント願えれば幸いです。

◆中和田教会の「教会建物を考える会」、「愛の献金を考える会」も回を重ねて議論が深まってきております。両方とも大きな課題ですが、7月には信徒各位にご報告やご提案をすることを目標としております。小教区の総意としての結論を得るために、直接、間接を問わず是非皆様の積極的なご参画を切にお願い申し上げます。

■巻頭言「「聖体について」のなか

で、小林神父様が「あいさつ」について言及されておられます。私たちがミサに与って「共に祈る」と深く繋がる重要且つ基本的な指摘だと思います。日常的なことですが、大元に立ち戻って、このご指摘に沿った行動をとっていきたいと念じております。



◆ 聖書朗読についてのお話

「神様のこと、好き?」「はい」という返事に混じって照れくさそうにもじもじする子どもたち。
 「好きな人から届いた手紙、みんなはどうする?なんだこんなものってボイする?」にやにや。
 「大事に大事に読むかな?」うんうん。
 「実はね、ミサで朗読されているのは、神様からみんなへのお手紙なんだよ。」ハエ!きょんとする子どもたち。
 お話はこんなスタートでした。そして、大人向けの言葉は難しくても意味もわかりにくいけど、神様からのお手紙なのだから、当番で朗読する時はみんなにわかるよう大きな声ではっきりと読もう、聴くときは静かに耳を傾けよう、ということで終わりました。

子どもたちが、少しでも聖書朗読に親しみを感じてくれるといいなと思います。(A.M)

◆ 第5地区教会学校合同遠足 4月27日

第5地区教会学校合同遠足が栄光学園でありました。中和田からは子どもたちとご両親など、総勢20名が参加しました。まず中学校庭で藤沢教会助任のティエン神父様司式による野外ミサ、そして大きなグラウンドで教会学校リーダーたちの企画によるミニ運動会が行われました。子どもたちは、赤・白・紫・緑の4つのグループに分かれパン食い競争や借り物競争、リレー等の競技に参加し、楽しい一日を過ごしました。

